

中央労働災害防止協会

東京安全衛生教育センター

所長 福 島 康 志

【照会先】

企画広報部安全衛生情報センター

所長 間 宮 直 樹

(電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225

E-mail koho@jisha.or.jp

職長・現場監督者教育を充実するため 【RST】講座を仙台で特別開催（6月・8月・10月）

東日本大震災の被災地では、がれき撤去、建物・道路の整備、工場の再稼動など、復旧・復興に向けた取り組みが本格化してきています。一方で、被災地の労働環境の安全確保は十分とは言えず、復旧・復興に関連する災害の発生や安全衛生上の問題も散見されます。

東日本大震災の復旧・復興を、的確・安全に進めるには、そのキーマンとなる職長・現場監督者に対する安全教育が重要です。中災防では復旧・復興支援の一環として、職長・現場監督者教育を充実するためRST講座を仙台で特別開催し、参加者の利便を図ります。

【開催日程】

建設業・設備工事業等を対象とした「建設コース」と製造業等を対象とした「一般コース」とがあります。なお、建設コースは、安全衛生責任者教育の講師資格を併せて取得できます。

- 1 受講対象 職長・現場監督者に対する安全衛生教育担当者、安全衛生スタッフ、ライン管理者
- 2 定 員 20名
- 3 研修期間 第2699回 建設コース 6月17日(月)～21日(金)
第2713回 建設コース 8月19日(月)～23日(金)
第2720回 一般コース 10月7日(月)～11日(金)
- 4 会 場 仙台ビジネスホテル(仙台市青葉区)
- 5 教科内容 ①トレーナー及び職長の役割、職長教育の進め方、②指導・教育の進め方、③監督・指示の方法、④作業手順の定め方、⑤適正配置、⑥リスクアセスメントの実施とその結果に基づくリスク低減措置、⑦設備の改善、⑧環境改善の方法と環境条件の保持、⑨作業方法の改善、⑩安全衛生点検、⑪異常時における措置、⑫災害発生時における措置、⑬労働災害防止についての関心の保持及び労働者の創意工夫を引き出す方法、⑭教材及び指導案の作成、役割演技、⑮災害事例研究、⑯安全衛生責任者の職務と統括安全衛生管理の進め方(建設コースのみ実施)等

RST講座についての問合せや申込みの詳細は、中災防、東京安全衛生教育センターのホームページ (<http://www.jisha.or.jp/tshec/>) でご確認下さい。

【RST講座】とは

職長その他現場監督者に対する安全衛生教育（労働安全衛生法第 60 条）を実施する講師（トレーナー）を養成する講座で、トレーナーとして必要な知識、教育技術（討議法、指導案の作成、ロールプレイング法等）に加え、労働災害防止にとって不可欠であるリスクアセスメントや労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）についても研修する。なお、建設コースには、安全衛生責任者教育講師養成カリキュラムも付加されている。

【安全衛生教育センター】とは

労働省（現在の厚生労働省）により設立され、中災防がその運営に当たっており、これまで労働安全衛生法に基づき事業者が行う安全衛生教育のためのトレーナー、インストラクター等の養成や、安全衛生担当者、生産技術者等の資質向上等に重要な一翼を担ってきた。

各種講座の修了者は東京安全衛生教育センター（昭和 48 年 10 月開所）、大阪安全衛生教育センター（昭和 53 年 11 月開所）の両センターあわせて 22 万人を越えており、これらの方々は全国の企業等において安全衛生活動を推進する上での指導的立場で活躍されている。



(注)

中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：米倉弘昌（日本経済団体連合会会長）

理事長：関澤秀哲